

INTRODUCTION

凡例（日本語）

1. 中医学用語の選択

『中医基本名詞術語中日対照国際標準』は世界中医薬学会連合会（世界中連）より提供された「中医基本名詞術語中英対照国際標準エクセル終版」（収録語数：6,261語）に準じた。

「中医基本名詞術語中英対照国際標準エクセル終版」の元になる中医基本用語の中英対照は、『中医基本名詞術語中英対照国際標準』（人民衛生出版社・2007年刊）の形で刊行されている。本書は、中華人民共和国国家中医薬管理局と教育部高等教育司が編纂した『中医薬常用名詞詞典』（李振吉主編 中国中医薬出版社 2001年版）、中医薬学名詞審定委員会が審査した『中医薬学名詞』（科学出版社 2004年版 全国科学技術名詞審定委員会公布）を主に根拠としたほか、国家中医薬管理局と中国国家標準化管理委員会が批准・編纂し、2006年5月26日に公布された『中華人民共和国国家標準中医基礎理論述語』（GB/T 20348-2006）を参考にして用語を選択している。

2. 標準制定の背景および過程

2007年11月30日に公表された『中医基本名詞術語中英対照国際標準』（人民衛生出版社・ISBN 978-7-117-09356-9/R-9357）を皮切りに、世界中連は、すでにドイツ語・スペイン語・フランス語・ポルトガル語・イタリア語・ロシア語・ハンガリー語・タイ語など9つの言語で、中国語と対照した中医基本用語の国際標準を公布している。

2017年10月、タイで開催された第14回世界中医薬大会において、世界中連創会副主席兼秘書長・李振吉先生は『中医基本名詞術語中日対照国際標準』の翻訳・編集・出版に同意。同年11月12日、世界中連副主席兼秘書長・桑濱生先生は世界中連主席団執行委員である日本の辰巳洋（Tatsumi Nami）博士と『中医基本名詞術語中日対照国際標準』研制委託協議書に署名した。

その後、日本における中医学の専門家に『中医基本名詞術語中日対照国際標準』の翻訳の通知を送付し、北京中医薬大学日本校友会・旅日華人中医学協会・日本中医群など各グループから70余名の日中両国の専門家が翻訳に参加した。翻訳作業をスムーズに進めるため、「翻訳規定」を定め、参考書を推薦。

2カ月に及ぶ翻訳作業終了後、審査委員会の審査を実施した。

また、日本の著名な教授や医師が本標準の指導委員会に参加している。

3. 用語の形式および配列

(1) 用語ごとに、コード、中国語、日本語、読み方、ピンイン、ラテン語（中薬）、英語を記載。

例：01-002 中医基础理论 中医基礎理論 ちゅういきそりろん
[zhōng yī jī chǔ lǐ lùn] basic theory of Chinese medicine

(2) 用語の分類・順序は中医学術大系に準じる。コードは以下の通りである。

01：学科・専門人員 02：陰陽五行 03：臓象 04：形体官竅
05：気血津液精神 06：経絡 07：病因 08：病機 09：診法
10：弁証 11：治則治法 12：中薬 13：方剤 14：内科 15：外科
16：婦人科 17：小児科 18：眼科・耳鼻咽喉科 19：骨傷科
20：鍼灸 21：養生・リハビリテーション・五運六気

4. 日本語訳の原則

(1) 釈義を避け、簡潔・明瞭となるよう努める。

(2) 中国語の簡体字を日本の漢字に置き換えることを基本とする。

例：脏腑→臟腑

(3) 一部、文章になっている用語については日本の読み方に変更する。

例：肺主宣发→肺は宣発を主る

5. 読み方

(1) 複数の読み方をする場合は、①②の番号を付けて表記する。

例：肝藏血 ①肝は血を蔵す ②肝は蔵血

(2) 混乱を避けるため、音読と訓読を混同しない。

6. 英訳の原則（「中英対照国際標準」における原則。以下同）

英訳はできる限り“正確（accurate）・明白（clear）・簡潔（elegant）”に努め、以下の基本原則を遵守した。

(1) 対応性：英訳の語義は、できる限り中国語の中医学用語の意味と一致させる。これが最も重要な原則である。

- (2) 簡潔性：英訳は、明瞭かつ簡潔なものとし、辞典のような釈義を避けた。
- (3) 同一性：同じ概念の名詞には同一の訳語を用いた。
- (4) すでに通用している英訳は、前述の原則と一致していなくてもできる限り採用する。

7. 英語の符号について

- (1) 1つの用語に複数の意味が含まれる場合は、各英語の前に①②③の番号を付けて表記した。
例：水気 ① edema ② retention of fluid
- (2) 1つの用語に複数の訳し方がある場合は、各英語の間に“；”の記号を付けて表記した。
例：経絡 meridian；channel
- (3) “/”の記号は、いずれを用いてもよいものを示す。
例：虚証 deficiency syndrome/pattern

8. 英訳の方法

- (1) 中医基礎・中医診断・治則治法の用語はできる限り直訳とし、一般英語を用いて対応する英語用語を作り、現代医学の概念と混同することを避ける。
例：“腎主水”の英訳は kidney governing water とし、kidney governing water metabolism とはしない。
“活血”の英訳は activating blood とし、activating blood circulation とはしない。
- (2) 身体のパーツを含む中医用語が、対応する英語用語（西洋医学の解剖用語）と完全に一致している場合は、英訳時にはそれらの用語を用いる。新たな造語は作らず、読者が中医特有の解剖構造と誤解することを避ける。
例：“面王”の英訳は tip of nose とし、king of face といった造語は作らない。
- (3) 中薬の名称は3つの方法で表記する。各中薬名の後に、それぞれピンイン・ラテン名・英語名を列記する。
例：“当归”は、Danggui；*Radix Angelicae Sinensis*；Chinese Angelica とする。
- (4) 方剤名は2つの方法で表記する。各方剤名の後に、それぞれピンインと英語名を列記する。

例：“参苓白朮散”は，Shen Ling Baizhu San ; Ginseng, Poria and White Atractylodes Powder とする。

ピンインは基本的に『中華人民共和国薬典（2005年英文版）』の表記を参照したが，中薬名ごとに音節を区切った。

例：“当归龙荟丸”は『薬典』では Danggui Longhui Wan であるが，本標準では Danggui Long Hui Wan とし，その英語名を Angelica, Gentian and Aloe Pill として，より正確性に努めた。

- (5) 中医病名の英訳では，中医病名が一つの西医病名と一致している場合は，中医病名を直訳するとともに，対応する英語の西医病名を（ ）内に入れ，中医病名の後に置いた。

例：“风火眼”に対応する英語名は，wind-fire eye (acute conjunctivitis) とする。

ただし，1つの中医病名が2つあるいはそれ以上の西医病名と対応する場合は，そのうちの1つの西医病名を選んで対応する英訳とすることはできない。

例：中医の消渴は，西洋医学の糖尿病 (diabetes mellitus)，尿崩症 (diabetes insipidus)，精神性煩渴 (psychogenic polydipsia) のいずれとも対応関係にある。そのため消渴は consumptive thirst と直訳し，“diabetes mellitus”を消渴に対応する英語とはしない。